

葛飾フットサルリーグ速報

最終節

K1リーグ		
ASC	3対3	南葛SC
大江戸FC	1対2	FREEDOM
MXPX	6対4	C-ESTA
黄金世代	4対2	コガサキ

K2リーグ		
ホソヤ	6対7	FREEDOM
ホソヤ	4対3	銀河系軍団
タコボーズ	7対4	FREEDOM
野人	9対3	FREEDOM
野人	5対6	Y'z
酒乱	4対5	FREEDOM

K3リーグ		
ボンビーズ	12対9	FREEDOM
TORIPLE	3対9	FREEDOM
ういるす	8対2	SOD



**MVP 野人
柏 聡太郎選手**
アルジェリアでも頑張ります。

順位

K1リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、MXPX	39	↑	優勝
2、コガサキ	33	↓	シュート打つが
3、イサカ	25	↓	まさかの連敗
3、黄金世代	25	↑	玉田いぶし銀
5、大江戸FC	19	↓	1点差が、遠い
6、ASC	16	→	痛み分け
7、南葛SC	14	→	痛み分け
8、C-ESTA	13	↓	首位苦しめた

K2リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、タコボーズ	36	↑	優勝
2、野人	33	→	後一步!!
3、ホソヤ	27	→	交代が、鍵か?
4、酒乱	26	↓	連携が、課題?
5、Y'z	19	↑	揃えば強い
6、エスカルゴ	10		今週休み
7、カインズ	8		今週休み
8、フェローズ	0	↓	勝てなかった

K3リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、ういるす	37	↑	優勝
2、アオバ	28		今週休み
3、ボンビーズ	19	↑	連勝!!
4、SOD	14	↓	田上執念ゴール
5、TORIPLE	13	→	形は出来てきた
5、ジニアス	13	↓	スタミナ不足
7、サウスクラブ	6	↓	スタミナ不足
8、募集中			

K1リーグ

ASC 対 南葛SCの対戦は、いつもはスロースタートのASCの先制でゲームが始まった、ASCのパスサルに対し、個人技の南葛といった互角の展開が続いた。南葛向笠のミドルやASC二瓶の切れ込んでのシュートなど両チームの得意の攻撃が、見られた試合は両者痛み分けとなった。

大江戸FC 対 FREEDOMの対戦は、大江戸のディフェンス力の高さが伺える試合展開となった。攻撃面も空中戦を上手く使い、相手チームの裏へ斉藤が抜けだしゴールを脅かした。残念なのは中村がキーパーに回ると軸がなくなり、攻守にリズムが悪くなってしまふ点だ。1点差ゲームが多いだけに残念である。

MXPX 対 C-ESTAの対戦は、前半優勝を決める一戦ということもありMXに堅さがあったのか、セーフティーなプレーが多く目立った。ESTAは、牧、片平と2枚シューターを抱えており、前線で今野がボールキープ出来てきおり山本、吉岡と運動量もあり非常にいい形になっていた。後半に入っても互角の展開が続く中、MX渡辺がESTAゴールをこじ開け優勝を決めた。

黄金世代 対 コガサキの対戦は、黄金は試合開始前に入念なミーティングで馬場徹底マークでシュートコースを空けない作戦に出た、作戦が見事に嵌まり効果的なカウンターで黄金がリードする展開となった。焦れるコガサキのミス黄金玉田が、すかさずゴールし試合を決めた。

K2リーグ

ホソヤ 対 FREEDOMの対戦は、久々のホソヤは出足が悪くY'zに回されたいた、徐々に体が動くようになってきてスピードで翻弄し逆転に成功したが、終了寸前に再度逆転ゴールを許してしまった。ホソヤは、運動量、個人技ともに高いレベルを持っているので次期シーズンに期待します。

タコボーズ 対 FREEDOMの対戦は、優勝に関わる大事な1戦タコボーズは、最高のパフォーマンスを見せた。葛飾リーグ開幕から参加している、高田、間淵、糠川が存在感をしめた。要所要所でゴールを決めキーパーにまわれれば、ファインセーブを魅せ彼らの成長ぶりには、感心させられた。

野人 対 FREEDOMの対戦は、野人エース三枝が遅刻してきたが、他にも遠藤、尾藤など点取り屋が沢山おり心配ない試合ではあったが、序盤相手ペースに合わせてしまい中々突き放せなかった、後半野人柏のゴールからワンサイドゲームとなった。

野人 対 Y'zの対戦は、野人優勝の掛かった大一番は前半Y'zの巧みなパスワークに野人が崩されていった、そんな中エース三枝は前線からプレッシャーを欠けリズムをつかませきらなかつた、後半野人リードで終盤を迎えたが、Y'z藪田、有山の果敢なシュートで最後に無念の逆転ゴールを許してしまい、優勝がとぎれてしまった。

酒乱 対 FREEDOMの対戦は、酒乱廣野、宮内が指導しながらの試合となった。即席メンバーということも有り連携が、いまいちであったが宮内を軸に良い形も出てきているので次シーズンが楽しみである。

K3リーグ

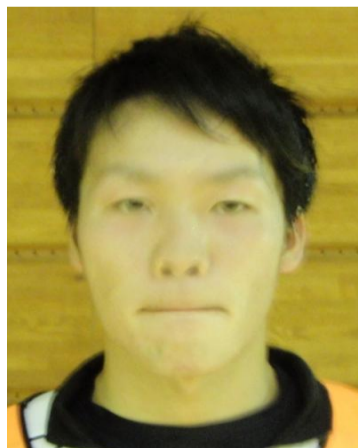
ボンビーズB 対 FREEDOMの対戦は、両チーム点の取り合いとなった。ボンビーズ市川の個人技で相手を置き去りにしていた。また、ボンビーズ宮崎も切れのいいドリブルとシュートで相手チームを粉砕していった。ボンビーズは、キーパー萩野も守備力が高いので守備さえしっかりすれば、優勝を狙えるだろう。

ういるす 対 SODの対戦は、前半からういるすの怒涛の攻撃が始まった。桜井、入江とゴールを次々と上げていき、後半も攻撃の流れは止まらず、ういるす勝利で優勝をがっちり固めた。一方、SODもマーベラス山本の惜しいシュートがあり最後に、田上が一矢を報いた。

FC TORIPLE 対 FREEDOMの対戦は、後半戦に入ってチームになってきたTORIPLEではあったが、前半しっかりとディフェンスが出来ており相手を苦しめた、後半スタミナが切れた所から失点を重ねてしまった。チームとして出来上がって来てただけに残念である。



**MVP 野人
八子 悟選手**
これからもチーム一丸となつて頑張ります。



**MVP ボンビーズB
宮崎 裕也選手**
やっと点取れました。

**MVP MXPX
渡辺 真也選手**
頑張りました。



**MVP タコボーズ
間淵 透平選手**
暑いです。

**MVP 黄金世代
玉田 和幸選手**
頑張りました。